

すこやか みなみネット通信 11月号

令和元2年度 白銀南中学校 校長 伊崎 己治

**創立30周年にふさわしい文化祭となりました！
学年が一つになり大きな成長が見られました！**

10月は今まで学んできたことや取り組んできたこと、頑張ってきたことが実を結び学校が大きく成長する月です。しかし、新型コロナの影響で今年は様々な学校行事が中止、延期、縮小となり、各学年の“らしさ”を身に着け、実感する機会が極端に少ない状況にありました。

そのような中、10月18日(日)「GEAR(ギア)」のテーマのもと御来場いただく方を制限し、校内展示も縮小した形にはなりましたが令和2年度の文化祭を開催することができました。そして今年の文化祭は創立30周年目の節目を迎える文化祭でもありました。1週間という短い準備期間でしたが、白銀南中生全員が様々工夫を凝らし、自分の良さと仲間の良さを互いにつなぎ合わせ文化祭に向かう姿を見ることができました。



前日祭では、ステージで発表する生徒を全校生徒で盛り上げ、体育館にいる全員が一つになりました。テーマ曲を全校生徒で歌い最高の雰囲気文化祭に突入することができました。

新型コロナ感染防止の観点から当日は来場者を制限して行いました。しかし、各展示のコーナーにはたくさんの保護者の方に来場いただきました。



各学年で工夫して作成・展示した学年店やパソコンを活用した作品の科学コース展、「アクアリウム(水族館)」をテーマにおいて作品を展示した芸術コース展、コロナ感染予防策盛りだくさんの保健委員会展、「ギアで紡ぐみんなの思い」を一つにして作品を展示した生徒会展、今年は夏季大会は中止となってしまいましたが、その3年生の思いを受けて戦った秋季大会等の様子や、各部のユニフォームの展示を行ってくれたPTA部活動委員会展、どの展示コーナーも限られた時間の中での創意工夫された展示内容でした。





ステージ発表は、発表学年の御家庭の方のみの入場規制の中実施しました。おかげさまをもちまして、大きな混乱もなく行うことができました。

実行委員による開祭式の後、10月7日(水)に行われた『中学校お話弁論』に参加した2年生の佐々木君の弁論の発表がありました。弁論大会の当日、校長室に元気にあいさつに来てくれたので楽しみにしていました。「年に一度の収穫」の題名で家族の楽しい思い出について立派に発表してくれました。

【1学年】 今年中学生となり、小学校との違いに驚いたことを寸劇「小学校と中学校の違い」で発表してくれました。1年生らしい視点での内容で笑いを交えての発表でした。その元気あふれる発表に1年生の底力を感じました。

【2学年】 今年延期となった創立30周年記念式典を2年生が創意工夫し、全員参加で「②学年による白銀南中創立30周年記念式典」を行ってくれました。白銀南中の歴史を振り返るとともに新しい伝統を築いていくという意気込みを感じさせる、本番さながらの構成の発表でした。何よりも2年生一人一人の良さが大きな力となって、学年が一致団結した素晴らしい発表でした。

【合唱部】 毎年、色々なテーマで文化祭のステージ発表を盛り上げてくれる合唱部の発表です。今年は”不思議な国のアリス”をテーマに歌だけでなく劇や衣装にも工夫を凝らした発表で私たちを魅了してくれました。ピアノ伴奏の佐藤先生、そして福田先生の歌声も聞くことができた貴重な発表となりました。

【3学年】 さすが3年生と感動させてくれた演劇「逃亡者～夢を追いかけて」でした。キャストの生徒の皆さんの演技によって、小さなことに不満をもったり、少しの失敗で目標を諦め妥協したりしてしまっていることを反省させられる内容でした。そして、なによりも3年生全員が参加し一つのものを作り上げた発表に感動しました。

【実行委員・開祭式・閉祭式】 実行委員がアイデアを出し合い、練りに練った内容で、今回のテーマ「GEAR(ギア)」にかけた内容の発表でした。そして、最後には「創立30周年を迎えた白銀南中学校を今まで以上に良くする」というミッションが出され、白銀南中生全員で取り組むこととなりました。文化祭は終わりましたが、文化祭で見つけた一人一人の”ギア”でさらに大きなギアを動かし白銀南中を一層良い学校にしていってほしいと思いました。

この文化祭を通し、1年生の中学生としての自覚、2年生の次のリーダーとしての決意、そして3年生には最高学年として白銀南中の伝統を作る意気込みを感じることができました。